

## バイク・自転車で楽しい都市 二輪 × 明石



既存の駐輪場も再整備すれば活用できる(本町)

「二輪×明石」は明石の観光振興における新しい切り口のひとつです。中西レオは、明石の観光振興には3T(タコ・鯛・玉子焼き)頼みからの脱却が必要と考え、二輪の他に源氏物語や軟式高校野球など新たな素材の活用を提唱しています。

### 旅行は何をしに行くか

現代の観光には、「そこで何ができるか?」という体験が重要になっていきます。明石にある鯛・タコ、子午線、イカナゴ、玉子焼き、穴子、海苔、明石海峡大橋などを「明石にある素材」から「明石で楽しめる体験」に深化させる必要があります。現在はこれらの記念撮影スポットも少なく、滞在時間の短さ(52.4%が3時間以下)は長年の課題となっています。

### 周辺都市との連携

明石は海峽都市として、「明石に來たなら淡路にもどうぞ」とお勧めすることで明石の価値が高まります。しかし、その連携はかなり不足しています。海を越える「移動」は、旅行者にとっては非日常の「体験」になります。本年8月2日より明石港から岩屋港への航路に新造船が就航しました。自転車ブームの今こそ、周辺都市と互いに応援し合ひましょう。

自転車での連携について、播磨地域に70kmもの立派な自転車道があり、そのスタートは明石市なのですがPRに力を入れていません。加古川や高砂、加西や加東にも行ってもらうマップを作り、東播磨や播磨としてPRすることで魅力が高まり、全国で競争ができるようになります。

### バイクの聖地として

明石はバイクの都市でもあります。川崎重工業の工場では大型のバイクが製造されており、バイク好きには聖地と呼べる場所です。バイク乗りの気持ちをよくする仕掛けがあれば、有名スポットになる可能性を持つています。例えば、明石由来の柿本人麻呂や菅原道真、源平合戦などの史跡や歌碑にスマホをかざすとAR(仮想現実)で明石産のバイクが出てくるなど、素材同士を組み合わせることもできます。

今回は私のアイデアの一端をお伝えしましたが、必要なのは、新しい切り口を取り入れることです。このチラシを読んでいただいた方からの、新たな切り口もお待ちしております。

請願受理 第2号～第5号 「平和安全法制整備法案」と「国際平和支援法案」の廃案を求める意見書採択を求める趣旨の請願4件

会派	真誠会								公明党				未来創造明石			民主連合		日本共産党明石		市民クラブ		島田啓	スマイル会							
議員名	井藤 圭端	山崎 雄史	深山 昌明	坂口 光男	辰巳 浩司	三好 宏	千住 啓介	穂原 成人	寺井 吉広	林 健太	梅田 宏希	松井久美子	絹川 和之	佐々木 敏	国出 拓志	尾倉あき子	出雲 晶三	大西 洋紀	中西 礼皇	丸谷 聡子	尾仲 利治	宮坂 祐太	久枝 陽一	辻本 達也	楠本 美紀	西川あゆみ	永井 俊作	北川 貴則	遠藤 恒司	家根谷敦子
期数	5	4	3	3	3	3	3	3	2	1	6	5	4	4	3	3	5	5	3	1	8	2	1	4	2	2	6	5	9	1
賛否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	退席	退席	退席	○	○	○	○	○	×	○

## 中西レオは賛成するも否決

6月議会で国の安保関連2法案について、「明石市議会として廃案を求める意見書採択を求める請願」が計4件出されました。同法案は9月に国会で可決成立しましたが、重要な請願でしたので報告いたします。

中西レオは賛成をしました。が、結果は上の表のとおり賛成8、反対18、退席3という結果で否決されました。

国を守る制度が必要なことは間違いありませんが、今回の法案は、◎憲法改正という根本的な課題に向き合っていない

◎危機の定義が曖昧で時の政権に委ねられているなど容認できない点があり、法案の趣旨は理解すれどもこの「安保関連2法案を廃案にすることを求める意見書提出を求める請願」4件に賛成をしました。

## 安保関連2法案 廃案を求める請願

全国では自民党や公明党の議員でも、廃案や慎重審議を求める声に賛成されているケースがあります。

決して、「法案に反対だからサヨク」「法案に賛成だからウヨク」というような決め付け、単純化はしたくないものです。

単純化は分かりやすい反面、互いに極端な事例を持ち出して相手を批判します。その先には罵り合いや暴力が待っていて、国民は幸せにならず、国のためになりません。

政治家は「自分は○○党系だから」よりも、多くの国民が不安を抱えていることに向き合う必要があります。今こそ、「右でもない、左でもない」というスタンスが重要です。